



## 健やかな心身を育み、宇宙へ思いを馳せた「寺子屋塾」

小学生と保護者が長泉寺に泊まりがけで滞在し、坐禅などのさまざまな体験をする「寺子屋塾」を、8月21・22日の二日間で開催しました。寺子屋塾とは、お寺での生活体験を通して、子どもたちが角田の歴史・文化・自然などを学べる機会をつくり、郷土に「子ども文化」を創造していくことを目的として、毎年夏休みに開催している事業です。以前から角田市と交流のある東京・文京区の「文京教育サポーターズ」と角田地区子ども会育成会、角田小PTA、角田自治センター、長泉寺が共同で主催し、講師の小川棟梁と的川博士は住職の招聘でした。今年のテーマは「長泉寺ツアーと宇宙のおはなし」、そして「東大脳と坐禅体験」という充実した内容で、東京と角田の親子約70人が参加しました。



小川三夫棟梁のお話を聞きながら長泉寺を巡りました。

開塾式に続いて行われた最初のイベントは、日本を代表する宮大工・小川三夫棟梁の案内による「長泉寺ツアー」でした。長泉寺本堂再建を手がけた小川棟梁に解説していただくのですから、これ以上にわかりやすく詳しいツアーはありません。日

その後、コスモハウス見学や野外バーベキュー、きもだめし、星の観

坐禅で心を澄ませ、ラジオ体操と清掃奉仕で体をいきいきと動かし、すっかり爽やかな気分になった後で、朝がゆ（朝食）です。おかゆには、大本山永平寺で食される梅干と、角田名産の梅干がひとつずつ添えられました。お寺の生活では食事も大切な修行ですから、自然の恵みに感謝し、作物を育てた人や調理してくれた人に感謝して、おいしくいただきました。食後の「東大脳講座」は、

# 峯<sup>みね</sup>のたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

環境活動特集号

新装刊 006号  
2010年12月1日発行

〒981-1505  
宮城県角田市角田字長泉寺69番地  
電話 0224 (62) 1004  
FAX 0224 (63) 0063  
<http://www1.odn.ne.jp/chosenji/>

曹洞宗 長泉寺  
六国峯  
国際環境規格ISO-14001認証取得のお寺



宇宙教育の父、的川泰宣博士を講師にお迎えしました。





清掃奉仕などの作務(さむ)は、坐禅と共に寺の生活では欠かせない大切な修業です。



朝がゆも大好評。普段はなかなか体験できないことばかりで、とても充実した二日間でした。



早起きして坐禅をした効果もあったのか、子どもたちは昨日にも増して集中力を発揮しました。

そして、今回の寺子屋塾は、いよいよ最終イベントを迎えます。小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルが、JAXA角田宇宙センターで展示公開される直前というグッドタイミングで「宇宙のおはなし」をしていたのは、日本の宇宙活動の語り部であり「宇宙教育の父」とも呼ばれる、川泰宣博士です。「はやぶさ」が地球を飛び立ち、小惑星「イトカワ」から物質のサンプルを採取して地球に届けるまでの物語を、子どもたちは熱心に聞き入り、たくさん

質問をしていました。

豊かな自然と長い歴史に培われた文化に恵まれる角田の地は、同時に人類最先端の科学拠点でもあります。そのような特徴を持つ角田だからこそ、大都会・東京の子どもたちと地元の子どもたちに伝えられることがあります。今年の寺子屋塾は、日本古来の建築で歴史・文化を学び、坐禅と奉仕で心身を鍛え、自然と触れ合い、考える力を養い、さらに宇宙へ思いを馳せる、という多様な意義があつたと思います。未来を担う子どもたちのために、今後もさまざまな形で角田の魅力を発信していきたいと住職は考えています。

## 寺子屋塾はこんな活動もしています！

### 長泉寺の「環境寺子屋」コース

夏休みの無料体験プランです。来年の夏に皆さんも親子で参加してみませんか？

- ◆坐禅を体験してみよう …約30分
- ◆お坊さんのお話を聞こう …約30分
  - ・命の大切さと故郷の自然保護
- ◆電池から地球環境を考えよう…約60分
  - ・乾電池と充電電池の違い[講義]
  - ・充電電池を充電しよう！[体験]
  - ・太陽の光で充電しよう！[体験]
  - ・充電電池で3R[講義]
  - ・人間電池を作ろう！[実験]
  - ・待機電流を計ってみよう！[実験]

### 出前コースもあります！

夏休みに限らず、上記の「電池から地球環境を考えよう」の授業を、ご希望の場所に出張して行きます。学校の「生活科」の授業などで実施する場合は、小学校4～6年生が対象です。



「環境寺子屋」「エコキャップ運動」のお問い合わせは、長泉寺環境管理責任者・山崎宛にご連絡ください。Tel. 0224-62-1004

## エコキャップ運動に参加しませんか？

長泉寺とミネ幼稚園では「エコキャップ運動」を推進しています。これは、ペットボトルのキャップを回収してリサイクルし、発展途上国の子どもたちにワクチンを寄付しようという運動です。

これまでも多くの方々にご協力をいただき、今年5月から9月までの5カ月間だけで約7万個が集まり、ワクチンに換算しておよそ87人分の寄付につながりました。

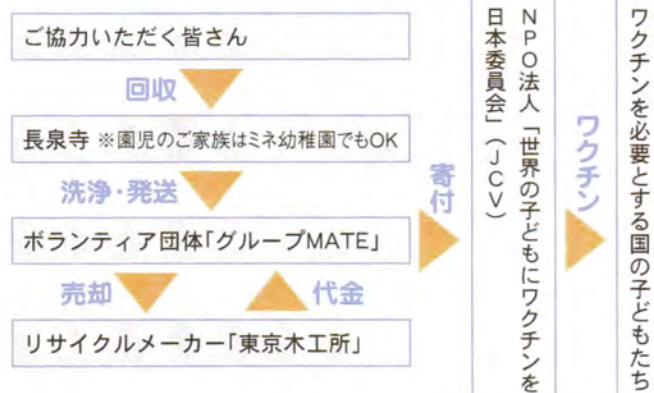
### 参加方法は簡単！

ボトルキャップを捨てず、長泉寺に持ってきていただくだけです。

### ここに気をつけてください！

- ◆回収対象は飲用ペットボトルのキャップのみです。
- ◆シールなどが付いている場合は剥がしてください。
- ◆ボランティアなので、代金の支払いはありません。

### キャップがワクチンになるまでの流れ





## 地球温暖化防止の願いを込めたキャンドルナイト 今年のテーマは「チャレンジ25キャンペーン」

お盆入りの夜に「しばし電気照明を消して迎え火を灯し、地球環境について考えながら先祖様をお迎えしましょう」と提唱する「お盆のキャンドルナイト」を、今年も8月13日に実施しました。3年目の開催ということで、地元・角田では恒例行事として定着してきた感があります。また、一昨年・昨年と続けてTVや新聞で紹介されたこともあり、市外各地からも多くの方が参加してく

だきました。

あたりに夕闇の気配が漂い始めた午後6時、鐘楼の音を合図に約1000本のキャンドルに火が灯され、防犯灯を除く周囲の電気照明が一斉に消灯されました。その瞬間、そこかしこから拍手が湧き起こり、境内にいる参加者一人ひとりの胸に感動が響き渡っていくようでした。

本堂に向かって右側には、例年通りに精霊流しをイメージした「デザインが、そして左側には、今年のテーマとなる「チャレンジ25キャンペーン」のシンボルマークが、ロウソクの炎で美しく浮かび上がりました。チャレンジ25とは、環境省が

温室効果ガス排出量削減に向けた具体的な行動を提案し、その実践を広く国民に呼びかけるという国民運動です。

チャレンジ25を意識していた人も初めて知った人も、ご先祖様をお迎えする特別な夜に、お寺の境内に揺らぐ明かりを眺めて、仏の国としての地球環境について普段よりも深く考えたのではないのでしょうか。

長泉寺はこれからも宗教行事の枠にとらわれず、より多くの方々と共に環境問題を考える場として、お寺でのキャンドルナイトを続けていきたいと思っています。年末の恒例となった「越年キャンドルナイト」も12月31日（金）午後11時から行いますので、皆様ぜひご参加ください。



## ミネ幼稚園の園児たちの 環境教育と活動について

ミネ幼稚園では「みやぎ省エネ行動宣言」として、園児への環境教育を行っています。遊びを通してゴミの資源化を学んだり、地域の清掃奉仕や地球温暖化防止を呼びかけるキャンペーンを実施するなど、園児たちはさまざまな活動に楽しく取り組んでいます。

### ミネ幼稚園の環境活動受賞歴

平成19年3月27日  
「宮城県自然エネルギー等・省エネルギー大賞」  
省エネルギー促進部門 奨励賞

平成19年10月6日  
「エコデスマイルコンテストinみやぎ」優秀賞

平成20年11月23日  
「宮城県自然エネルギー等・省エネルギー大賞」  
省エネルギー促進部門 大賞

平成21年10月23日  
「エコデスマイルコンテストinみやぎ」優秀賞



◆地球温暖化防止の呼びかけ  
ヨークベニマル角田店の入口で、手作りのメッセージカードを手渡しながら、地球温暖化防止を呼びかけました。



◆親子クリーン作戦  
「このゴミは資源になるかな？」 台山公園と角田駅前の2コースで、それぞれゴミ拾いを実施し、種類や分け方を教わりながら、拾ったゴミを分別しました。

## 園児募集のご案内

平成23年度の願書受付がスタートしました。ミネ幼稚園では途中入園や満3才児の入園も随時受付しています。見学はいつでも歓迎しますので、運動会やおゆうぎ会など行事だけでなく、園児たちが普段どんな1日を過ごしているかも自由にご覧いただけます。入園案内パンフレットを差し上げますので、お気軽にお越しください。

いつでも見学OK!  
途中入園OK!  
満3才の誕生日から入園OK!

◆お問合せはこちらまで  
TEL:0224-63-2519  
E-mail: mineyo@gaea.ocn.ne.jp

◆ホームページもご覧ください  
<http://www5.ocn.ne.jp/~mine/>

幼児期からの環境教育は文部科学省の最重要課題のひとつです。



## 環境保全活動は、曹洞宗が掲げる 三大テーマのひとつです。

長泉寺が取り組んでいる環境保全活動について、その意義に共感し、積極的に参加される方々は大勢いらっしゃいます。しかし、残念なことに「どうしてお寺が環境保全活動になど関わらるのだ。お寺は宗教活動に専念していればいいではないか」といった否定的な声も、少なからず聞こえてきます。多様な意見が出るのは悪いことではありませんが、否定される方々は、ひとつ大きな誤解をされています。

現代社会の諸問題に対し、曹洞宗は「人権の尊重、平和の確立、環境の保全」という三つのテーマを掲げています。曹洞宗の布教教化方針（平成22年度）においても、これらのテーマが施策の三本柱となっております。

### ◆平成22年度 曹洞宗の布教教化方針 第4条の内容

大いなる自然に生かされていることを思い、「地球環境をまもる全曹洞宗の運動」（グリーン・プラン）を継続していきます。

私たちは、自らが大自然とひとつであることを深く自覚し、未来の地球の姿に思いをいたし、身近なところから、環境に配慮した生活を実践していきます。

曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」より抜粋

環境の保全については「大いなる自然に生かされていることを思い、地球環境をまもる全曹洞宗の運動（グリーン・プラン）」を継続していきます」という方針が定められています。つまり、長泉寺の環境保全活動は「地球環境をまもる全曹洞宗の運動」の一環として実践しているものであり、地域社会におけるお寺の役割という意味で、何ら矛盾するところはありません。

曹洞宗の布教教化方針には、「私たちは、自らが大自然とひとつであることを深く自覚し、未来の地球の姿に思いをいたし、身近なところから、環境に配慮した生活を実践していきます」ということも記載されています。さらに「私たちは、地域社会に積極的にたたらきかけ、寺院を広く開放し、人々との様々な縁を大切にし、信仰生活を柱とする絆をつくっていきます」とも記載されています。

刻々と進む環境破壊から地球をまもるためには、私たち一人ひとりができることから、まず実践することが大切です。皆様がそれぞれの生活の中で、環境に配慮した行いを始めるきっかけになればと願い、長泉寺はこれからも環境保全への取り組みを続けてまいります。

### ◆連載コラム 暮らしの中のエコアイデア

長泉寺環境管理責任者  
宮城県地球温暖化防止活動推進員  
山崎義幸

地球温暖化防止への取り組みというとなかなか考えてしまいがちですが、あれこれ悩んでいるよりも、とにかく実践することが大切です。新連載となるこのコラムでは、毎日の暮らしにほんの少しの工夫をすることで、どなたにも簡単に実践できる環境保全活動を紹介していきます。

今回は、暖房のエネルギーを無駄に使うことなく、寒い季節を暖かく過ごすためのアイデアを紹介いたします。これらのアイデアはすでに我が家で実践し、十分な効果を確認していますので、皆さんにもぜひおすすめしたいと思います。

#### プチプチシートでプチ断熱

窓から外の寒さが伝わるのを防ぐために、梱包材のプチプチシートを貼り付ける方法は、皆さんもよくご存じでしょう。我が家では、ここにもうひとつ工夫しています。窓に直接貼るのではなく、窓の内側に少し間隔を空けて空気層をつくることで、断熱効果を上げているのです。

空気の断熱層により、窓に直接シートを貼るよりも室温を3度上げることができました。「たった3度」と思うかもしれませんが、ひと冬の燃料に換算すると「灯油約12リットル」もの節約につながります。

#### 障子にも空気の断熱層

プチプチシートと同じように、障子にも空気の断熱層をつくることができます。室内側にも紙を貼り、両

面障子にすればOKです。これは夏場に冷房効果を高めようと工夫したのですが、冷暖房どちらにも効果を発揮します。

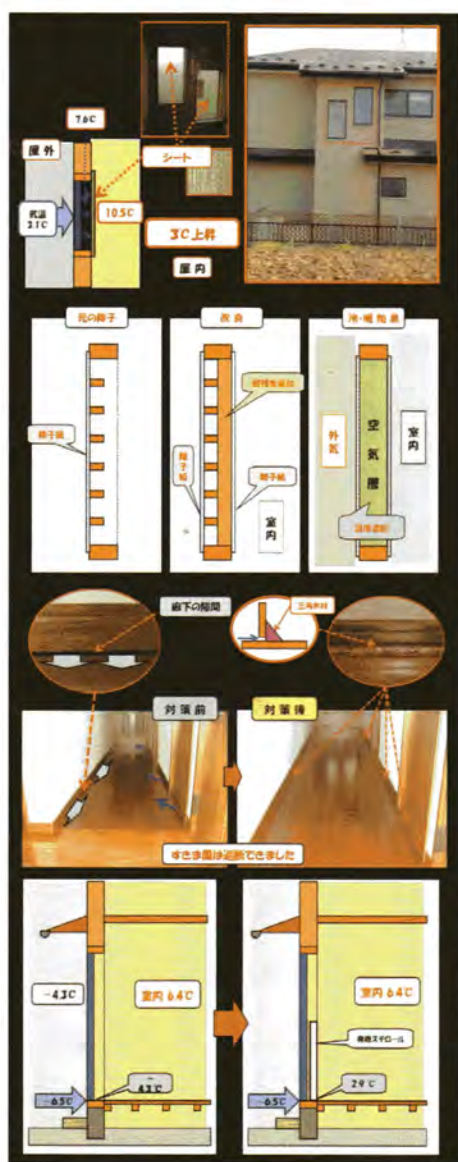
#### すきま風をシャットアウト

木造住宅は、床と壁の接点にわずかな隙間があることが多いですね。ここから入ってくる「すきま風」が、意外と侮れない寒さの元なのです。そこで我が家の廊下では、細い三角柱の木材を使って、足元を冷やす風を防いでいます。

足元から入ってくる冷気といえば、勝手口のドア下も気になっていました。そこで発泡スチロールの板を設置したところ、なんとドアの下部付近の気温が約7度も上昇しました。たったこれだけの工夫で、以前は台所にも使用していたストーブが必要なくなりました。

プチプチシート断熱  
両面障子  
すきま風対策

勝手口の足元対策





◆連載エッセイ

和尚さんの心に浮かぶこんなこと

長泉寺住職 奥野 成賢

挨拶の言葉「不審」と「珍重」

世間には子ども達との挨拶運動というものがあります。朝、学校に登校する子ども達を教師が校門で待ち受け、「おはよう！」と声掛けをする活動です。

出世間（お坊さんの世界）では「身」と「口」と「意（こころ）」で挨拶を表現します。「身」とは、合掌し、体を曲げて頭を低く垂れる敬礼の姿勢のことで、これを問訊といいます。「口」とは、その姿勢に挨拶の言葉を添えることであり、「意」とは、気持ち伝えることです。

朝の挨拶には「不審（ふしん）」という言葉を使います。これは「ご機嫌いかがですか」という意味であり、また、「ありがとうございます」というお礼の意味で使うこともあります。

夕方の挨拶では「珍重（ちんちょう）」という言葉を使います。珍重は「しんじゅう」あるいは「しんじゅん」とも称され、「ご苦勞様」「さようなら」「お大事に」「ご機嫌よう」などの意味を表します。

所用があつて夕刻に他家を訪問し、帰り際に「お明日」と言つて別れる時、家の主が「お静かに」と言葉を添えることがあります。この「お静

かに」の語源は、まさに珍重（お大事に）注意して帰るなさい）であるに違いありません。

その昔、暇乞いの挨拶は夕刻にするに決まっていた。旅立つ者は、世話になった人の家に「明朝早く、この地を辞去いたします」と挨拶に出向き、家の主から「お静かに」珍重」と返礼されたのでした。決して「黙つて帰れ！」と言われたわけはありません。

ところで、問訊の礼については前述しましたが、修行者が師家（修行を導く先生である師僧）に問題を持ちかけて答を得るときにも、この挨拶の礼を行いました。そこで禅宗では、挨拶とは「問答をする」という意味にも使われるようになりました。ともあれ、口先だけの「おはよう」「さようなら」ではなく、ご本尊様やご先祖様に正面から合掌拝礼の礼（問訊）をするように、お互いに相手の目を見て、心のこもった挨拶をするよう心がけたいものです。

宗立専門僧堂での日々所感

私は現在、熊本県菊池市の聖護寺で開かれていて、第4回曹洞宗立専門僧堂に参加しています。一昨年の第2回僧堂はバリ禅道尼苑で、昨年の第3回はロサンゼルス陽光寺で開催され、私はこれで3度目の参加となります。

宗立専門僧堂とは、禅の国際化に伴い、海外の修行僧と一緒にグロ

バルな見地から禅を学び合う特別な研修であり、一回につき90日間の日程で実施されます。今回は8カ国から16名（男性12名・女性4名）が参加し、それに私たち日本人が約10名、事務局も加えて30名での修行生活です。

バリ、ロサンゼルス、それから（温泉地で有名な）熊本県菊池市と聞くと都会の感がありますが、いずれも「えっ!? まさか、ここが？」と驚くような山間地ばかりであり、毎日ワイルドなサバイバル生活を送っています。

物質的には乏しい日々でも、豊かな信仰生活の中にいると、国境を越えても人間は互いを理解し和合して生きていけると実感でき、言葉で語り尽くせぬ深い喜びと感動を覚えます。

また、聖護寺にはお檀家さんが一軒もなく、地元の鳳来地区にはわずかな戸数の集落しかないにも関わらず、その浄土真宗の信者の方々の篤い信仰の力で維持されていることには、敬服するばかりです。

（11月2日、熊本にて執筆）

宗立専門僧堂での1日

4:00	起床
4:30	坐禅
6:10	朝の勤行
6:50	朝がゆ
7:40	清掃
8:30	朝参（法話）
9:30	坐禅
10:40	勉強
11:30	日中の勤行
12:00	昼食
14:00	清掃・勉強
16:30	夕方の勤行
17:00	夕食・入浴
19:10	坐禅
21:00	消灯

「聖のたより」推薦図書

「宮大工と歩く奈良の古寺」

小川三夫・著／塩野米松・聞き書き

発行：文藝春秋  
定価：本体905円＋税

長泉寺本堂再建を手がけていた小川三夫棟梁が、奈良のお寺の見どころを、わかりやすく楽しく案内してくれる一冊です。日本を代表する宮大工として、自分の手でお寺をつくってきた人ならではの視点により、普通のガイドブックとはひと味もふた味も違うかたちで、古寺の魅力伝えてくれます。

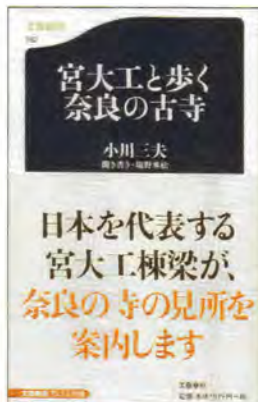
ノコギリもない奈良時代の人々が、どうやって千三百年も持つ建物をつくり上げたのか、どんなところに工夫の跡が見られるのか。本書は、法隆寺や薬師寺などの主要寺院を巡って具体例を挙げ、私たちの知的好奇心に応えます。小川棟梁は「古建築を見る時には（中略）古代の大工の目で見ることも必要です。そうすることで、昔の工人の考えが見え、

声が聞こえてくるんじゃないですか」と語ります。私たちが本堂を再建するとき「千年先の未来へ伝えられる建物」と願ったように、いにしえの工人たちも「自分たちの力ですごいものをつくるのだ」という思いを込めていたことがわかります。

「千三百年建物が建ち続けている。（中略）そのエネルギーとか、木の強さとかいろんなものが、ここですか味わえないものがある。中門を入ったら、ただ知識で見た確認するんじゃないくて、中門の柱を抱いて、千三百年前の人の力とか、木の不思議さ、強さを感じ取ってほしいと思います」という小川棟梁の言葉は、すぐにでも奈良に飛んで行って実際に本堂を訪れたい気持ちを掻き立てます。

長泉寺では来年の春頃に、奈良のお寺を小川棟梁の案内で巡るツアーを予定しています。その旅を楽しみにしつつ、本書を読まれてみてはいかがでしょうか。

「奈良を歩く旅」に参加ご希望の方は、直接お寺へお問い合わせください。





皆様に御礼申し上げます。

檀信徒の皆様をはじめ長泉寺にご縁のある方々から、たくさんのご喜捨を賜りました。平成二十一年十一月から二十二年十月までの芳名帳より、受付の日付順にて掲載いたします。

◆供養料

米山産業	笠松 喜秋	大沼 和夫	栗野 好一	佐藤 やよひ	井上 孝一	佐藤 政井	葉坂 恒夫	菊地 康平	鈴木 欽次郎	瀬戸 源三郎	塩田 徳夫	齋藤 いさ子	増子 あい子	岡田 和一	小山 昌宏	今内 義光	渡辺 隆二	ミネ幼稚園 同様	日野 幸一	牛澤 友志	自照院	佐藤 健夫	栗原 誠一	浅川 俊幸	吉田 信代	小川 ひろし	溪水寺	一條 勲	吾妻 武博	玉手 一彦	中畑 博幸	沢野 喜八郎	渡部 泉子	吉野 昭一	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

吉田	窪田	原田	八木沼	湯村	志賀	高橋	松源寺	佐藤	高橋	山田	圓龍寺	長泉寺	徳蔵寺	喜松院	加藤会館	渡辺	渡辺	玉手奈鋪	水野	井上	笹森	大槻	高林寺	菅野	浅野	鈴平	瀬戸	斎藤	斎藤	上原	岡田石村	太田	鈴木	坂田	浅川
克哉	容子	勝男	昌弘	成子	四郎	ふさ		信雄	勲	保治						正一	久子	文子	さた子	進	正明		末男	うめ		昭一郎	隆雄	成俱	年喜	行男	正敏	輝男	賢二	喜美	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

高橋 規義	斎 徹	鎌田 稔	高橋 たけの	川上 康太郎	遠藤 孝	一條 みつこ	毛利 友一	遊膳 匡	笹森 匡	名川 久雄	泉 久雄	太田 勇一	泉 和夫	藤野 浩	佐々木 繁保	松崎 ときわ	杉山 恵子	小野寺 喜一	目黒 清吉	最上 六千男	谷津 行男	石井 芳巳	常堅寺	洞昌寺	洞林寺	西門寺	常因寺	中村 静子	渡辺 孝一	岡田 重松	大槻 光男	坂元 哲郎	鈴木 忠幸	八木 隆彦	大川口 諒一	木村 輝男		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

赤川 良行	西牧 昭雄	大川口 六男	笹木 マサ子	佐藤 和一郎	松崎 三夫	松本 勇夫	渡辺 徳郎	斎 正光	佐藤 かつ子	西塚 良郎	山越 千代子	南部 正治	目黒 サノ子	高瀬 悦子	東藤 義昭	遠藤 文雄	森谷 りつ	芳賀 忠克	町田 光子	曲木 可也	保志 邦広	泉 二階堂 元	及川 アヤ子	曲木 秀利	瑞雲寺	繁昌院	荒木 喜代子	佐藤 はるえ	柄目 喜一	山本 政秀	小野 俊美	井上 宏義	引地 武夫	南部 信一	丸谷 石村	青柳 いと	山田 光雄	金子 六男	長田 三男	柄目 ケイ子	加川 博	小平 弘一	小形 福男	吉田 美恵子	加藤 亀市	佐藤 栄子			
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

長谷川 文男	津田 正志	芳賀 ケイ子	佐藤 勝	森 登茂子	三浦 敏	成田 茂	猪股 文芳	草間 進	本郷 茂	森 浩	佐々木 茂	物江 亮	星 謙治	佐藤 彰	佐藤 英二	佐久間 幸男	小池 力行	滝口 良子	大槻 康之	小松山 俊昭	大泉 正敏	菊地 勝子	中山 ハナ	大野 キヨ	小丸 淳	澤井 幸一	米竹 マサヨ	馬場 廣治	大槻 光生	永井 茂美	佐藤 徳男	森山 旭	鈴木 宣男	遠藤 成夫	金子 春男	小澤 實	猪狩 正功	今出 辰一	市場 邦夫	市場 幸男	佐藤 陽平	注連内 隆一	大泉 力夫	木村 貞信	市場 みつ子				
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

武者 高瀬 佐藤 中野 尾崎 小形 宗禅寺 伊藤 秋葉 佐藤 根元 柄目 長徳寺 谷津 斎藤 森山 金子 佐藤 佐藤 須藤 松川 高橋 高橋 金澤 柿崎 山田 矢吹 岩崎 咲間 小野 浅見 清野 窪田 湯村 渡辺 草間 岡田 盛田	淑子 孝仁 紀清 正勝 光子 時雄 富代 久子 邦夫 規 孝治 哲夫 賢一 勲 ツネ あい 敏子 一郎 庄造 たきの みつ子 キン 文二 マサ子 幸子 敬二 みつ江 正明 紀光 弘 栄紀 喜郎 恒雄 純一 静一 正治
様 様	

斎藤	大寺	高橋	伊東	藤根	庄司	氏家	湯村	窪田	菊地	梅原	佐藤	佐藤	山田	佐藤	中畑	曲木	柴崎	佐竹	仙石	石川	高橋	三文字	成田	小川	笠松	相原	阿部	円龍寺	川嶋	渡辺	渡辺	梶村	梶村	高橋	広西	横山	佐々木	佐藤	小野	成田	尾沢	洞雲寺	中村	氏家	斎	浅川			
マサイ	正和	節	隆	いく子	道夫	洋子	昌平	エワ子	文男	平重	信治	千恵子	敏男	敬男	澄子	恵子	宗男	貞雄	孝子	満啓	明美	正彦	佳謙	正和	道子	伊寿	金造	金造	明	てる子	正一	利江	秀生	亨一	英紀	りん	悦子	つめ子	はな子	満子	寿美子	邦夫	フク	きみ子	正純				
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

佐藤 博	小松 良行	庄司 春男	一條 国太郎	豊岡 浩一	目黒 梯子	高橋 くに子	小田川 良雄	秋山 和三郎	井上 貞子	柴崎 宗夫	佐藤 嘉子	菊地 照子	中山 義光	菊池 信一	岸浪 八重子	本間 由子	吉野 正則	玉手 武男	佐藤 義衛	大槻 哲雄	富樫 千津子	鈴木 大男	大野 達男	米山 敏夫	金野 康宏	後藤 矩子	瀨谷 和夫	小林 しづえ	二瓶 信子	高松 光子	佐藤 次子	阿部 平	上野 則子	田澤 キヨ	須崎 芳子	山田 剛一	増子 薫	佐藤 君子	秋山 源之輔	沼崎 栄子	小野 栄夫	鈴木 実三郎	荒川 米三郎	小嶋 弘治	中野 けい								
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

※物品等……野菜、果物、米、海産物、酒類、茶、ジュース、菓子、生花、商品券など  
 ※その他……お地藏さんの着物、仏具敷、雑巾など手作りの物、自筆本、自主制作CDなど



◆物品等

◆物品等	小野 律子	菊池 杜夫	吉野 正則	面川 義明	藤島 しるふ	工藤 重夫	佐々木 健夫	井上 庄一	覚照寺	鈴木 道也	溪秀院	渡辺 恒雄	渡辺 てる子	森 秀次	菊地 光博	花の膳	鎌田家	伊藤組造園	龍門寺	佐々木 義男	山口 百合子	柳橋 醇一	総寧寺	大津 まき子	本田 市夫	藤野 浩	菊池 信一	伊東 あい	津龍院	早田 節夫	川村 フミ	ほこたて仏光堂	仏教文化	佐藤クリーニング	石井 芳巳	米山産業	成田 宗郎	今野 淳二	松源寺	大槻 晃	大沼 和夫	仙台ノイタニツ	窪田電気工事	遠藤 洋平	登米 昭	曲木 茂		
	細野法衣店	根元泰蔵商店	齋藤 伊三	アキコホレーン	和泉 美穂子	鈴木 俊輔	野川 亘	繁昌院	佐藤 節男	村岡 眞實	松崎 安典	佐藤木材	奥野 光賢	高瀬 悦子	水野 文子	井筒屋法衣	佐久間 次男	横山 りん	西塚 良郎	広洲寺	高屋漆器店	總寧寺	常因寺	岡田石材	洞林寺	洞昌寺	葉坂 恒夫	角田ガスセンター	小田川 良雄	太田 重義	菊地 康平	桃泉寺	安昌寺	永山 剛	平山 郁雄	佐竹 貞雄	名川寺	安部 弘憲	高橋 政男	鈴木 欽次郎	鶴工舎	玄光庵	山本 龜代	瀬谷 寿一	太田 定	山田 久	徳蔵寺	細川 志め
	油井 秀夫	本多 正久	安達 宗男	加藤 猛雄	庄司 淑子	鈴木 隆三	斎藤 いさ子	高林寺	城満寺	館林 明憲	ジャクエツ	斎藤 徳栄	宗禪寺	高梨仏具店	高橋 明美	龍雲寺	茂木建設	山田石販	草桶法衣店	山田 正夫	今野 孝	石川建設	大友生花店	すずき生花店	満興寺	松本 芳子	今内 義光	森 敏男	かねこ葬儀社	鈴木 捷弘	加藤 洋子	菊地 清明	渡辺 陸二	加藤 実	日野 幸一	市場 眞吉	丸谷石材	自照院	前嶋 敬子	高橋 賢宜	堀田 守輝	菅野 トシ	菅野 美代子	小野 実	百々 文男	本間 昭雄	渡辺 みや子	
	ふる里交流センター	郷家 貞男	佐藤 栖鳳	大橋木工所	笠松 道子	吾妻 武博	きくや	玉手 一彦	菊地 功	会田 元男	中畑 博幸	阿部 弘実	伊東 隆	富士リースト	仙台放送OX	エンタープライズ	阿部 清彦	吉野 昭一	菅野 一男	南部 友里子	ミヨシ魚店	南会館	浅野 うめ	渡辺 正一	加藤会館	武智 京子	石川 正志	喜松院	長泉寺	圓龍寺	般若堂	馬場 晴作	高橋 ふさ	遠藤 秋雄	芳賀豊店	仙光院	一條 みつ子	遊龍 順蔵	笹森 三三男	青柳 千秋	松崎 ときわ	最上 六千男	常堅寺	西円寺				
	小関 和輝	織田鳩なほ子	渡辺 喬子	岡田 重松	赤川 良行	西牧 昭雄	佐藤 かつ子	山越 千代子	小野寺 茂隆	東禅寺	保志 可也	鈴木 俊明	瑞雲寺	大槻 哲雄	山田 政博	青柳 いと	金子 六男	森山 良子	野口 紀久子	長田 三男	佐藤 彰	佐久間 幸男	草田 純一	窪田 栄紀	半谷 浩司	南部 正治	金澤 みつ子	佐藤 あい	佐藤 節夫	椎谷 照彦	目黒 京子	佐々木 生一	中地 清	佐藤 一馬	小野 久男	中村 静子	瑞興寺	関泉寺	斎藤 みいこ	半沢 一良	大槻 岩雄	横山 好見	長徳寺	柄目 孝治	佐藤 主蔵	加藤 富夫	井上 春雄	小丸 弘一
	曲木 恵子	石川緑化	菅野 健	佐藤 義衛	富塚 功吉	大槻 久男	成田 満子	曳地 ヤエ子	窪田 エワ子	甲山 次夫	斎藤 文一	佐藤 明	佐藤 紀清	武者 淑子	斎藤 マサイ	高橋 節	大槻 正人	庄司 道夫	菅野 政美	佐藤 正友	鎌田 昭一	斎藤 文枝	斎藤 一良	泉 正雄	せいひの保険	大場 和夫	高橋 順一	渋谷 正隆	斎藤 重信	大栗寺	根元 清繁	金沢 信道	村上 欽市	草間のり子	佐藤 常子	浅川 正純	芳賀 清一	北沼 一男	廣西 光一	渡辺 てる子	佐藤 一郎	松岡 茂	栗原 誠一	小野園	佐藤 俊広	三由 忠男		
	佐藤 しづ子	長谷部 昭	内ヶ崎 武邦	高田 由美子	中原石村	一條 憲一	小川 正和	高瀬 光子	佐々木 正義	佐藤 直士	坂田木材	鈴木 孝一	梅原 平重	金沢 みつ子	佐藤 信男	仙石 一馬	中畑 澄子	穴戸 利雄	物江 亮	井上 孝一	高砂旅館	吉松 聖博	大石 浄玄	大久保 洋子	高橋 生花	高橋 勝男	小形 みえ子	伊東 あい子	小嶋源五郎本店	一條 国太郎	山下 道也	佐藤 信雄	高橋 健一	斎 徹	舘矢間山田青年部	歡喜院	青柳 千秋	及川 茂	中川 敏男	及川 アヤ子	野口 きく子	半澤 廣治	根元 清繁	成田 佳謙	山並 秀昭	佐藤 研一		

大槻 ちぎ子	佐々木 正好	渡辺 祐子	大槻 令治	円龍寺	荒川 孝一	東北福祉大学	洞雲寺	J.A仙南サービス	富士根 尚一	佐藤 つめ子	安藤 祐介	沢田 文明	大槻 光男	菊地 照子	佐藤 和則	鈴木 寿美子	金野 康宏	田澤 キヨ	松浦 吉市	石伸	秋山 源之輔	根本 武士	中野 栄夫	荒川 米	大友 豊子	中野 拓	日下 八重子	一條 研介	大友 浩一	小野 石村	金上 繁	太田 義夫	芳賀 秀俊									
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様									
◆その他																																										
穴戸 龍芳	佐藤 實	星 富雄	大槻 章	村上 定男	仙石 とみ子	千葉県 第15教区	吾妻 敏男	庄司 信一	大沼 尚	生出 秀子	増子 薫	山中 君江	関 謙一	加藤 亮子	佐藤 千恵子	阿部 平	大槻 一雄	佐久間 次男	斎藤 達男	荒川 和子													佐藤 はな子	三浦 ワキ	中川 こず	渡辺 みや子	乙葉 みよし	沼崎 秋一	田口 静子	岩間 弘	斎藤 一男	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様													様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

◆その他

角田市文化財『臥牛門』の修復工事が  
始まります。教育委員会のご指導をい  
ただきながらの作業となります。詳細  
については次号にお知らせいたします。

ここに掲載させていただいた皆様だけでなく、匿名で喜捨をされた方々もいらっしゃいました。また、重複する御芳名は割愛させていただきました。すべての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



# ★★★お知らせ★★★

どうぞお気軽にご参加ください！

## ◆定例坐禅会

長泉寺は、曹洞宗認可参禅道場です。坐禅とは、こころ静かに坐るだけで、何も難しいことはありません。毎週日曜日の夕方5時より、約1時間程度坐ります。坐禅後には法話、茶話会も行っています。(会費無料)

## ◆お経を読む会

毎月1日と15日、朝6時より行っています。経本等のテキストを無料で差し上げますので、特別な準備はありません。(会費無料)

## ◆ご家庭でも朝夕の勤行ができます

## ◆『檀信徒の聖典』実践CD

毎日の暮らしの中でも朝夕のおつとめができるよう、お経のCDをつくりました。CDを聴きながら読経するので、どなたにも実践しやすく、長泉寺住職による読経指導も収録していますので、お経の順番や意味に



長泉寺「檀信徒の聖典」と共にぜひご家庭でお役立てください。

ついてもよくわかります。朝夕のおつとめは功德になります。お経を読む会だけでなく、ご家庭でもぜひ実践してください。CDをご希望の方はお寺にご連絡ください。

## ◆不要な本をお寺にお持ちください

角田の歴史や文化を、より多くの方々に伝えていくために、長泉寺では将来的に私設図書館のような場を設けたいと考えています。そこで、不要になった本を寄贈していただけますよう、皆様にお願いたします。一般書・児童書などのほか、専門書や郷土資料、全集など、書店で入手しづらい本は特に歓迎します。直接お寺へお持ちいただくか、または(数量が多い場合などは)事前にご相談ください。

## ◆塔婆をお求めの方へ

供養申込の方のご要望もあり、塔婆を1本1000円でご用意しました。ご希望の方はお求めください。

## ◆ご注意：ご協力をお願いします！

墓参に來られる方々から「墓地のバケツがない」という苦情が寄せられました。しかし実際には十分な数のバケツがあり、それが見当たらないのは、後片付けをしないで帰ってしまう方がいるからです。バケツを使用した後は、次に來られる方々

のために、必ず元の場所に戻してください。せっかくお参りしたご先祖様につかりされないよう、マナーの向上をお願いします。なお、バケツとひしゃくは數量を補充しました。

## ◆「巳正月」の「祈禱供養」の案内

巳正月とは、本年の不幸から脱皮し、新しく生まれかわって新年を迎えるための供養として、瀬戸内地方に古くから伝わるものです。長泉寺ではこの考え方を基に、本年中にご葬儀をされ、百か日を過ぎた方にお集まりいただき、供養を行って「巳正月祈願お札」「ご仏前にお供えするお餅」「お清めのお酒」を差し



曹洞宗や仏教について「今さら聞けない」基礎知識や「知って楽しい」豆知識を紹介するコーナーです。

【Q】初七日、四十九日、百力日などの法要には、どのような意味があるのですか？

【A】仏教では、人がこの世からあの世へ旅をするときに、7日ごとに7箇所の関所を通るとされています。その最初の関所が初七日であり、三途の川を渡ります。

本来は亡くなった当日を含めて数

上げたいと思います。なお、関係者の皆様にはお手紙でもご案内しております。

## ◆「招福大般若祈禱」のご案内

招福大般若祈禱とは、本年の垢を落とし、清々しい心で新年をお迎えするための祈禱です。ご祈禱の後には法話も行う予定です。お正月を迎える歳徳神さまのお札を差し上げます。祈禱料はお一人1000円で、どなたでも参加していただけます。

※「巳正月」「招福大般若祈禱」の日時は、下欄の年末年始行事予定をご覧ください。

え、7日目に法要を行います。最近では葬儀の当日に行われるのが一般的になっています。

その後、7日ごとにお参りを重ね、このころ安らかにあの世へ到着できるように願うのが、四十九日までの法要なのです。

四十九日には法要を行うことで忌明けとなり、旅を終えた故人は、この日から仏様となります。葬儀の日から仮に安置されていたお位牌に文字を入れ、開眼供養をして正式のお位牌にするのはそのためです。開眼法要を行うことによって、仏様とな

った故人の魂がお位牌に宿ります。そして百力日とは、命日から数えて100日目の法要です。これは、残された人々が悲しみに区切りをつ

ける法要で「卒哭忌(そつこくき)」ともいいます。「哭(泣く)」のを「卒」に終えるという意味です。

そのつとごとにお参りに來られない方のために、葬儀後に繰上法要を営みますが、それはあくまでも仮の法要ですから、初七日、四十九日、百力日には読経をあげて供養しなければなりません。

ただ漠然と法要を行うのではなく、それぞれの意味をよく考え、こころを込めて故人のために合掌することが、自分にとっても大切なことです。

皆様からのご質問をお待ちしています。肩肘を張った真面目な質問だけでなく、気軽に「トリビア」的な知識への興味でもOKですよ！

## 長泉寺 年末年始の行事予定

12/4(土)	午前10時～	巳正月供養
12/21(火)	午前10時～	歳末義捐托鉢
12/29(水)	午前10時～	招福大般若祈禱(仮称)
12/31(金)	午後11時～	除夜の鐘 越年キャンドルナイト
1/3(月)	午前10時～	新年大般若祈禱会

※12/31～1/3は葬儀を出しません。他の仏事は行います。